

## せつこっこクラブ 11月「おやこバスツアー」を開催しました。

日 時：平成30年11月10日（土）10時～16時

行き先：INAXライブミュージアム（常滑市）

展覧会：常設展、企画展「和製マジョリカタイル—憧れの連鎖」

対 象：小学生～中学生（小学生は保護者同伴）

参加人数：30名（小学生16名、保護者14名）

参加費：小学生950円、保護者1,300円（入場料+どろだんご作り体験料）

職 員：野田、伊藤

今回のせつこっこクラブ「おやこバスツアー」では、常滑市にあるINAXライブミュージアムへ行き、展覧会の鑑賞と「光るどろだんごつくり」の体験を行いました。

到着してまず、INAXライブミュージアムの学芸員さんに施設の概略説明をしていただきました。このミュージアムはLIXILが開設する文化施設で、「世界のタイル博物館」「建築陶器のはじまり館」「土・どろんこ館」など6館からなります。皆さん初めての来館なので、地図を見ながら説明を聞きました。敷地内では、季節ごとの植物も楽しめるそうです。



最初に「世界のタイル博物館」を見学しながら、用意したワークシートの課題「好きなタイルを1つ見つけてスケッチしよう」に挑戦しました。皆さん、細かな模様までしっかりと描き込んでいました。

その後、昼食のお弁当を敷地内の思い思いの場所でとりました。ベンチや芝生がいたる所にあり、お天気にも恵まれた中、ピクニック気分での休憩時間となりました。たくさんの館があるこの施設。お昼を終えた家族から、まだ見ていない施設を自由見学しました。

午後はいよいよ「光るどろだんごづくり」に挑戦です。先生の説明を聞きながら、まずは金属製の道具を使ってどろだんごを丸く削っていきます。小学校低学年の子はまだ手が小さくてやりにくそうでしたが、先生や保護者の方に補助してもらいながら、自分の力で進めていきました。



形ができれば、次は着色。てのひらに特殊な絵の具を塗ってだんごをころころ転がすことで、不思議な模様が描けます。見本の作品を参考にしながら、自分の好きな色や模様を着けていきました。



カラフルに色を塗ったら、ガラス瓶で磨いて、てのひらで転がして、という磨きの工程を何度も何度も根気強く繰り返します。ここで力を入れすぎたり落としてしまっただけでは台無しなので、先生の「日ごろの集中力を発揮してください！」の言葉を頼りに、大人も子ども一生懸命に作業を進めていくと、だんだんとどろだんごが輝き出してきました。

時間いっぱいまで磨いたら、先生からおだんごのお手入れ方法をお聞きして終了です。小学生の子どもたちも、お母さん・お父さん・おばあさんも全員がピカピカでカラフルな「光るどろだんご」を完成させることができました！

「光るどろだんご」づくりは、意外に力が必要で根気と集中力もいる作業ですが、その分できたときの達成感があって、自分で磨き上げたどろだんごには愛着がわいてきます。どろだんごをおうちで飾るための台座をミュージアムショップで買ってもらっていた子や、「どろだんご作り、リベンジしたい！はまりそう」「今度はパパも一緒に来て作りたい」というお声も聞かれました。

バスの道中では、当館学芸員から「どろだんごもタイルも、土という素材からできている」「人類は《焼く》という手法を身につけたおかげで、食べ物や道具を長く保存することができるようになった」という解説も行いました。

「子どもがどろだんご作りが好きで、とても楽しみにして来た」というお声もあり、今後も美術だけに限らず、近隣のユニークなミュージアムでの体験をとおして広く文化全般に親んでもらえるような企画を開催していきたいと思います。

(学芸員 野田)

